

青年対策交流会議に参加して。

豊橋シーパレスにて2月24日(金)~26日(日)に開催された第23回青年対策交流会議に関東地方から14名で参加させて頂きました。

開会挨拶にて鈴木中央執行委員長より皆さん達の横の繋がりを全国の繋がりをより良いものに結び直して行くと言う様なそんな会になったら良いなと思いますとのお言葉を頂きました。鈴木中央執行委員長より中央オグ全港湾の歴史、「港湾運送事業法」について、真島全国港湾執行委員長より「原子力発電所建設阻止の戦い」を講義して頂きました。

戦後と共に全港湾が結成され78年間の歴史のある労働組合で港湾の問題点を整備してきた背景を今一度学ばさせて頂き全港湾の諸先輩方の行動力や団結力の凄さを知り組合運動の重要性や全港湾としての取り組み方を勉強させて頂きました。

港の問題点として波動性の特色を持つ為永遠の課題であると教わりました。

巻原発建設阻止から学ぶ抗議行動では地域を巻き込んでの35年間もの間反原発運動をされてこられて最後には建設撤回を勝ち取る事が出来た事、過去をたどっても建設撤回はこの1件しかないと聞いて信念を貫く覚悟がどんなに大変なのかを教えて頂きました。

最後に班ごとに別れて原発や原発運動について分散会をしました。

テーマを原発は何故危険なのか？原発運動を全国展開して行くにはどうしたら良いか？について議論しました。

目に見えない怖さや1度事故が起きると人間の手に負えない物だと皆で一致し反原発の重要性を皆で再確認しました。

青年部年間スローガン採択では阪神支部の前田勇太さんの「高き志と若き力で築こう、新時代！全港湾青年部！」に決定しました。

今回の交流会を通して感じた事はやっぱり人は顔を見て話をして繋がる事が大切だと思いました。コロナ禍ではありますがしっかり対策して開催出来た事を嬉しく思います。

運営担当の沖縄地本の皆様ありがとうございました。

関東地方横浜支部港栄分会

青年部長 寶納雅行